

## 屋根の定期点検

すまいの劣化具合、外壁はよく目につくので気にされますが屋根はどうでしょうか。

実は屋根は住宅の中で最も老朽化しやすいところです。

普段よく見ることができない屋根、常に直射日光にさらされ、時には雪も積もりますし台風等の風雨の被害に遭うこともあります。

それだけに知らぬ間に劣化が進み、雨漏りや色々な障害が生じます。

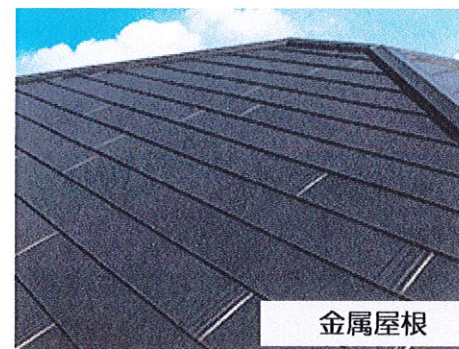
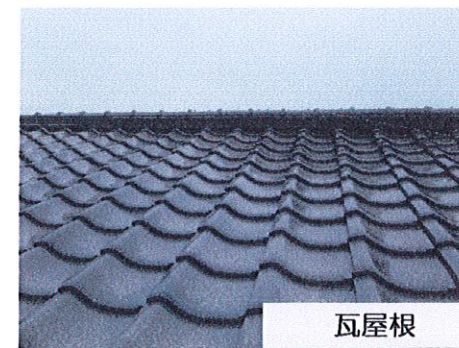
### 屋根の点検をしましょう

点検といっても、屋根に登るのは危険ですので、下から見上げたり、2階から1階部分の屋根を覗いて見るか、少し離れた場所や高台、ご近所のお宅から自分の家の屋根を見せてもらったりするなどして、分かる範囲でチェックをしてみましょう。

次ページののチェックポイントに当てはまる部分や気になる部分があった場合は、自分で屋根に上らず、専門家に点検してもらいましょう。

チェックポイントは 《色あせ、色落ち、ズレ、割れ、さび》

↓ 次ページへ続く ↓



## 屋根点検 チェックポイント

チェックポイントは 《色あせ、色落ち、ズレ、割れ、さび》

瓦屋根は屋根材自体の寿命は長く色落ちもほとんどありません。

ズレや割れがないか、棟瓦を固定している漆喰部がくずれてないかを確認しましょう。

スレート屋根は10年を過ぎる頃から表面の劣化が始まり、汚れや色あせ、コケの発生、割れや反りなどが起きることがあります。

色あせ・色落ちが進むと表面の色つやが完全に失われ塗膜切れがおこり、防水能力を失った状態になります。

浮き・反りが発生した場合は、逆水現象により下地材にまで雨水が浸入してしまいます。

棟部やケラバ部分、1階屋根と外壁との間の水切りに使われている鉄板部にサビ・腐食がないか、釘が抜けていないかも確認しましょう。

屋根材のズレ・ひび割れや亀裂等の破損は、雨が直接浸水し、防水層がある下地に回ります。

雨どいの破損や欠損があると屋根からの雨水が家の外壁に直接つたって壁を傷めます。軒樋は落ち葉やゴミが溜まっていないかも確認しましょう。

**劣化したまま放置しておく、家全体の老朽化を早める原因になってしまいます。**

**未長く快適に暮らし続けるため、定期的な点検とメンテナンスを心掛けましょう。**

